

令和5年度第3回高知県循環器病対策推進協議会 議事要旨

日時：令和6年1月23日(火)18:30～19:40

方法：オンラインと書面の併用

出席：17名（うちオンライン12名、書面5名）

議事（1）第2期高知県循環器病対策推進計画(案)及び第8期高知県保健医療計画（脳卒中、心血管疾患）(案)について

【委員】 資料1の意見No.2のところで、脳卒中の受療動向（外来）において、幡多圏域に居住する患者でリハビリ目的で中央圏域の医療機関を受療した方が少なくとも2名いるという説明があった。現場の状況としては、遠方からの診察となる来院患者が、その足でリハビリを利用する例も時々ある。こうした状況だったのか、分かれば教えていただきたい。

【事務局】 患者動態調査は、6年に一度実施している調査で、調査票には、医療機関の所在地、患者の住所地、受診診療科目、主病名といった項目があるが、それ以上の具体的な診療内容や、患者の受診方法などは確認することができない。

【委員】 資料2の意見No.12で、リハビリの提供主体が医療から介護保険事業者へ変わり機能低下していないかどうかについてのモニタリング指標が「脳卒中患者のうち再発の者の割合」となっている。確かに再発すればADLは大きく低下するものの、この指標だけを頼りにすると、実態を正しく評価されない危惧もある。

【事務局】 県としても、リハビリの提供主体が変わっても、対象者の状態に合ったリハビリテーションが切れ目なく提供される体制づくりが重要と考え、資料2 P46の現状に記載している。リハビリの提供主体ごとの対象者における身体機能の評価に関するデータは集約していないため、このような書きぶりになっている。

【委員】 資料2 P46の“介護保険によるリハビリテーションを受けることも可能ですが、医療保険によるリハビリテーションとは内容が異なることも多く”という記載について。退院後に利用する居宅介護サービスは、現状、訪問介護と通所介護の利用が多い。一方、「日本リハビリテーション病院・施設協会」が全国の回復期リハビリテーション病棟を対象に行った調査において、退院後に、訪問リハビリ・通所リハビリ・外来でのリハビリを利用した場合と、そうでない場合を比較したところ、対象者のADL向上・維持に

において有意差があったという結果が出ている。「リハビリの内容が異なる」のではなく、サービスの組み合わせの問題が大きいと思われるため、訪問リハビリ、通所リハビリ並びに外来でのリハビリを適切に選択することによって、機能向上または機能低下を防ぐ必要があるという表現のほうが適切ではないか。

【事務局】 ご意見を踏まえ、記載方法について見直したい。

【委員】 「心不全療養指導士等の再発・重症化予防に携わる人材育成への支援」（資料1 No. 17）（資料2 P51）について。心疾患の再発・重症化予防に携わる者としては、心臓リハビリテーション指導士のほうの印象が強い。“心不全療養指導士等”の“等”に含まれていると思うが、この表現でよいのか。

【事務局】 資料3 P5の指標に、前回の委員のご意見を踏まえ、「心臓リハビリテーション指導士数」及び「心不全療養指導士数」を追加した。資料の現状値は人口10万人対で示しているが、実数で言えば、心臓リハビリテーション指導士数39名（出典：日本心臓リハビリテーション学会HP）、心不全療養指導士数63名（出典：日本循環器学会HP）となっており、ホームページ上で確認する人数では、心不全療養指導士のほうが多い。しかし、それぞれ学会の所属状況や各施設の体制等の事情もあると思われるので、両者を指標としている。

【委員】 「心臓リハビリテーション指導士数」及び「心不全療養指導士数」の資料について。資料3 P5では、「6 循環器病患者の在宅での療養支援体制が整っている」の「6-1 在宅療養を支援する専門職の増加」という部分に配置されている。専門職の増加のモニタリングは難しいので、これらの指標が挙げられることは致し方ないと思う。しかし、心臓リハビリテーション指導士は、おそらく、ほとんどが急性期病院に所属する方が取得していると思うので、在宅療養支援というよりは、急性期病院におけるリハビリテーションの充実に、大きく影響している部分だと思う。また、心不全療養指導指数に関しても、分布としては急性期病院が多いと思う。位置づけ等について再検討してはどうか。

【事務局】 指標の位置づけ等について検討する。

【委員】 資料2 P39、回復期リハビリテーション病棟からの在宅復帰率に居住系施設を含んでいる、ということについて。「77%の高い復帰率」という部分が、「70%台を維持できています」と、より正確な表現にはなった。一方、その下の「居住系施設を除く自宅への復帰率のモニタリング方法についても検討が必要です」と記載があるが、回復期リハビリテーション病棟連絡会

と高知大学によって行われた調査から、75%を目標とするということが出されている。そういった数字を明記してはどうか。

【事務局】 検討する。

議事（2）その他

【委員】 北海道の益毛町では、「高血圧ゼロのまち」というスローガンのもとに様々な取組が行われている。分かりやすくして本県の参考になると思う。

【事務局】 提供のあった資料は、後日委員に送付する。

計画（案）について

- ・第2期高知県循環器病対策推進計画（案）及び第8期高知県保健医療計画（脳卒中、心血管疾患）（案）について、委員より了承を得た。
- ・第3回協議会で出された意見については、事務局で計画案の一部検討、修正のうえ、会長一任で計画案としてとりまとめることで了承を得た。
- ・2月に実施予定のパブリックコメントについても、意見への対応が軽微な修正である場合は、会長の一任とすることについても了承を得た。

以上をもって閉会した。